

2020年(令和2年)10月29日(木曜日)

三島駅南口

再開発問う住民投票条例案

市議会総務委で否決

三島市議会は二十八日の総務委員会で、JR三島駅南口東街区の再開発事業の是非を問う住民投票条例案を、賛成少数(賛成一、反対六)で否決した。

委員会では、豊岡武士市長に条例制定を直接請求した請求者代表六人が意見を述べた。吉岡肇さん(六)は「市は事業について十分に

説明していると言いが、市民はよく知らないのが事実だ」と市の情報提供不足を指摘。地下水への影響の議論も中途半端なまま、都市計画決定をするのは危険だとして「一度立ち止まり市民の意見を直接聞くべきだ」と制定を求めた。委員からは市に対し、投票用紙の選択肢にある「都

市計画決定一年延期」の影響の質問もあった。市は「延期して今よりよい計画ができる保証はない。事業者や地権者も関わる事業。延期はデメリットだ」と答弁。「(二択の)選択肢と

ちらでも、事業を良い方向に導けない」と制定に反対した。委員会では傍聴議員の質疑も認められたが、委員から動議が出て打ち切られた。傍聴議員として質疑を

した佐藤寛文議員と石井真人議員は「住民の直接請求により提出された条例案の議論で、質疑を打ち切るのは前代未聞だ」と憤っていた。本会議での採決は三十日に行う。(渡辺陽太郎)